



2021-2022 年度主題
 国際会長(IP) Kim Sang-chaе (Korea) キム・サンチェ
 主 題 “Ys Men with the World” 「世界とともにワイズメン」
 スローガン “Heal the World with Love and Dignity”
 「愛と尊敬で世界を癒やそう」
 アジア太平洋地域会長(AP) 大野 勉 (神戸ポート)
 主 題 “Make a difference beyond the 100th”
 「100年を越えて変革しよう」
 スローガン “Be healthy!” 「健康第一！」
 東日本区 理事(RD) 大久保知宏 (宇都宮)
 主 題 “Think for the next generation”
 「私たちは次の世代のために何ができるか？」
 スローガン “We are stronger together than we are alone”
 「絆を深めるとき」
 湘南・沖縄部長(DG) 若木 一美 (横浜とつか)
 主 題 「咲かそう 人の輪〜明るく・楽しく・元気よく〜」
 クラ ブ 会 長 久保 勝昭
 “良きつながりを持って” 心ひとつに「無理の無い活動を」



久振りの嬉しい忙しさかな

横浜つるみワイズメンズクラブ会長 久保 勝昭

2022年6月4～5日ワイズメンズクラブ第25回東日本区大会がズームで開催された。クラブから自分と書記の久米康子さん、横山裕二さんが参加した。

2020～21年の24回大会も山梨県甲府の「常盤ホテル」コンベンションホールよりズームで行われました。自分は1983年の入会依頼日本区大会は一度の欠席もありますが、ズームでの経験は初めてでした。この日は例会が6月10日(木)であったが大会に合わせて会を、12日(土)に振り替えた。大会の雰囲気にも一度もふれたことのないメンバー全員にとって大変有意義な会となったと思っている。2022年5月に入りコロナ禍も減少傾向に転じて来たので、横浜YMCA、ワイズメンズクラブもズームからハイブリット、対面にイベント・プログラムの方式も変わりつつあった。5月6日に参加したイベントを書き出し方式の違いの思い書いてみた。

5/12(木) PM4時～6時定例会・対面：マスクをしたままの会であったが声が聞きづらかったが、マイクを使用し対応した。

5/23(月) 第7回エクステンション委員会・ハイブリッド：出席者は比較的多い。

5/26(木) 令和4年度第1回ボランティア・市民活動団体分科会・対面(1時30分～3時)：2年ぶりの対面での会であり出席者も21名位の出席があたった。

5/27(金) 北YMCA・つづきクラブ・つるみクラブ、懇親会・対面(PM7時～8時30分)：つるみクラブから6名出席クラブとしては初めてのこころみ。参加者は30名位と非常に盛り上がった。

5/28(土) 横浜YMCA 会員総会・聖光学院中学校・高等学校ラムネホール(PM2時～)・ハイブリッド：ズームの参加もあったので対面での出席者が、少なかった。

6/07(火) 第94回YMCA-Y's協議会・ズーム：チャリティーラン他報告

6/09(木) つるみクラブ6月(期末)定例会・対面(PM4時～6時)・全員出席：
 「お楽しみプログラム」バンドの演奏を実施：フルート富山姫路子、ピアノ秋山由美子
 曲目：雨だれプレリュード(ショパン)、城ヶ島の雨他9曲

6/11(土) 鶴見川ゴミ拾いウォーク！(10時～12時)・対面マスク着用：21名参加：
 思っていたよりゴミが多かった。クラブより久保、中村、吉本が参加。

以上、結構多忙であった、地域が広範囲のときはズームのほうが出席率は良いと思うが、ボランティアの繋がりや意見交換の場としては対面で出来るのが望ましい。



北YMCA・つづきクラブ・つるみクラブ 懇親会集合写真
 (つるみクラブのバナーは忘れました)



YMCA 運営委員卒業の大和さん、
 鈴木委員長から感謝状の贈呈

《つるみクラブ5月定例会》

日時：6/9(木)16:00～18:00

場所：鶴見中央地域ケアプラザ・多目的ホール

出席者：久保勝昭、島田徹、横山裕二、久米康子、駒井恵美子、新改悦子、中村純子、野辺良一、日野東亜子、松井美津子、吉本正子、渡邊光枝

ゲスト：日下部美幸さん(鎌倉クラブ)、富山姫路子(フルート)、秋山由三子(ピアノ)

プログラム

「司会進行」 渡邊光枝 ピアノ：吉本正子

1. 開会点鐘
2. ワイズソング・ワイズの信条
3. 会長挨拶

「報告事項」

1. 5/28(土)2022年度横浜YMCA 会員総会・聖光学院ラムネホール 14:00 久保
2. 5/26(木)ボランティア・市民活動団体分科会(鶴社協) 13:30～15:00 中村

「YMCA 報告」

1. 「ちょこっと助け隊」
2. 「Y-Ys 協議会」6/7(火)19時～20時 リモート

♪ お楽しみプログラム ♪

定例会の中で、お楽しみプログラムとして、ピアノ、フルート、ギター、ソロ、歌の広場のコンサートを開催しました。

6月にちなんで、

[雨] がテーマです。歌のソロ:ギター 久保勝昭

フルート: 富山姫路子 ピアノ:秋山由三子

- (1) 雨だれのプレリュード
- (2) 城ヶ島の雨
- (3) にじいろ

富山姫路子氏のミュージックの解説があり、情景がより深く読み取れた。

- (4) アカシアの雨が止むとき
- (5) 蘇州夜曲
- (6) 長崎は今日も雨だった

これらは、歌の広場で会員全員が参加しました。

- (7) テネシーワルツ(8) わが心のジョージア
- (9) For the good time
- (10) シェルブールの雨傘
- (11) She

これらは、久保勝昭氏のジャズ、ウェスタン、映画音楽のソロ、ギターと解説でより感慨深いものがありました。数曲のフルート、ギター、歌、アンコールがあり、会員全員が、参加者となった気分を味わったのではないのでしょうか。今後の例会も、全員参加で、魅力ある会にしていきたいものです。

ゲストに鎌倉クラブの日下部美幸さんが、遠路厚木から来て頂き有難うございました。(久米康子 記)



〈2022年6月データ〉

在籍会員数	例会出席者数		出席率
12名	メンバー	12名	100%
	ゲスト	3名	
	合計	15名	

今後の行事予定

- 6/25(土) 11:00～13:00 つるみクラブ役員会
- 6/25(土) 15:00～17:00 第3回評議会
- 6/27(月) 18:30～ エクステンション委員会
- 7/14(木) 16:00～18:00 つるみクラブ定例会



鶴見地区での活動報告

～「つるみおなかいっぱい食堂」再開しました～

鶴見中央 YMCA では、特定非営利法人『あしほ』さんの協力のもと、子ども食堂を月に一回実施しています。新型コロナウイルス感染症の影響で今年の1月以来中止していましたが、万全の感染症予防対策を実施していますようやく再開することができました。



前回まで、お弁当のお持ち帰りとしていましたが、今回からケアプラザの多目的ホールで食事をする食堂形式に変更しました。食堂形式では、およそ2年半ぶりとなります。大きな声でしゃべったりすることはまだ出来ませんが、少しずつではありますが、本来の形に戻りつつあります。34名の参加がありました。地域の方たちが元気に参加してくださいました。次回は7月23日(土)11:30～予定しています。ご参加お待ちしております。

鶴見中央 YMCA 島田 徹

鶴見川ゴミ拾いウォーク

海洋ごみの70%は、町のごみが川を通して流れ出ると言われております。海洋ごみを減少させるために、川のごみを無くすることが一番の近道であることを理解するため、本日、鶴見川のゴミ拾いを実施しました。



参加者は、ちょこっと助け隊、サイエンスフロンティア高校の学生さん、豊岡町、佃野町、寺谷から回覧を見てくださった方、潮田地域ケアプラザより2名、つるみワイズメンズクラブからもご協力いただき、合計21名で実施しました。潮鶴橋より、土手の下と上に分かれてゴミ拾いを開始し、たばこ吸い殻、プラごみ、缶、ビン、ペットボトルなどのゴミが目立ちました。



川に落ちているプラごみが多く浮いていました



ゴールの生麦河口干潟まで拾い歩き、ゴミの量は、燃やすごみ10袋、ペットボトル、缶、ビン1袋づつ 合計36.6kg回収いたしました。SDGSの環境保護のことを考える機会として、身近にできることから、みんなで取り組んでいくことの大切さを実感した1日でした。

(鶴見中央ケアプラザ 横山)

《令和4年度第1回ボランティア・市民活動団体分科会》

日時：5/26(木)13:30~15:00

会場：鶴見区福祉保険活動拠点 多目的研修室

出席：14 団体（15 名） 社協関係（6 名）

会長挨拶：コロナ禍での通の悩みや、活動を話し合いたい。

1. 議題

(1) 令和3年度ボランティア分科会の取り組みについて

5/24 第1回分科会「これからのボランティア活動を考えよう

10/27・プチ勉強会「ZOOMを使った会議の紹介」鶴見パソコン・ボランティア協会

・各団体活動報告

・令和3年度ボランティア分科会の進め方について

11/19 「つたえて、つながるボランティア」

講座(オンライン開催)5月に開催した「これからのボランティア講座」に連続して実施された

2/17 第3回分科会 中止

3/17 第4回分科会 中止

一人暮らし/約2週間分(例1)



(2) 区社協プチ勉強会「食糧支援について」

○食支援とは：様々な理由により、生活にお困りの方で、
当面の食糧確保にも困難な方を対象として
原則 2 週間分を目安に食料をお渡しする事業

○お渡しする食糧の確保

地域の皆さん

- ・個別の寄付（区役所や区社協へ）
- ・町内会単位でフードドライブ
（日にちを決めて所定の場所へ等）
- ・団体単位でフードドライブ
（日にちを決めて所定の場所へ等）

二人暮らし/約10日分(例2)



(3) 各団体活動状況共有

- コロナ禍で2年も活動が出来ていない。
- 配食サービスの団体が多く、調理室に4人しか入れなくて困った。
食器を洗わなくてもよいなどの工夫をしながらおこなった。
- 手話教室サークルの人から、買い物した時レジで、マスクとシート越しに何を言っているのかわからず困った。聞こえない人にとってはもっと困っていると思う。音だけの状況ではなく聞こえない人にとって、過ごしやすい社会になって欲しい
- 各団体の悩みは高齢化でした。会員増強方法などの勉強会をして欲しい。との意見もでした。
- つるみクラブも、コロナ禍でも出来る活動を考えようとしたが、オンラインの環境が整わず、話し合う事ができませんでした。

(4) 令和4年度ボランティア分科会の進め方について

9/22 第2回分科会 勉強会（内容未定）

11/17 第3回分科会 各団体活動状況報告

1月・2月 第4・第5回分科会 アイネット推進フォーラムボラコーナーについて

3月 第6回分科会 令和5年度事業計画（案）・アイネット推進フォーラム振り返り

「ボランティア・市民活動団体分科会」とは

横浜市鶴見区社会福祉協議会から、助成金の交付や情報提供などを通して、グループ活動を支援していただき、定期的にグループ同士の情報交換を行っている会です。現在37団体